

第三回

# 京都市北部エリア 脳卒中地域連携の会

共催 一般社団法人日本脳卒中学会 京都府脳卒中対策推進委員会  
一般社団法人京都府医師会 一般社団法人京都府薬剤師会



2026

Sat.

2.21

14:00-16:40

会場

対面開催形式 後日動画配信を予定しています



京都大学 医薬系総合研究棟 藤多記念ホール

<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/access/campus/>

## 参加対象

下記以外の医療関係者のご参加も大歓迎です  
また所属医療機関の所在地は問いません



Access  
(68番の建物です)

- 京都府医師会 会員
- 京都府薬剤師会 会員
- 京都府内の一次脳卒中センターや回復期リハビリテーション病院に勤務する医師・医療ソーシャルワーカー・薬剤師・看護師・事務職員等
- 日本脳卒中医療ケア従事者連合京都府支部の各団体会員

## プログラム

⇒ プログラム詳細は裏面へ

「点」から「線」へ。多職種で描く、脳卒中シームレス連携の新展開

セッション1



急性期から生活期まで「つながる」連携のカタチ

セッション2



かかりつけ薬局を軸とした「薬剤連携」の新たな展開

セッション3



看護サマリーの標準化と思いを支える支援



## 参加申込み

右記のQRコードもしくは下記URLよりご登録ください

申込〆切 : 2月18日（水）

<https://forms.gle/MyBx5DJAR2Hvcwwq5>



# 第三回 京都市北部エリア脳卒中地域連携の会 プログラム

総合司会：眞木崇州（京都大学医学部附属病院 脳神経内科講師）

開会挨拶：一般社団法人京都府医師会

## セッション1 急性期から生活期まで「つながる」連携のカタチ

司会：眞木崇州（京都大学医学部附属病院 脳神経内科講師）

講演1

「脳卒中生活期における連携主治医制への期待」（20分）

永金義成（京都第二赤十字病院 脳神経内科）

講演2

「脳卒中生活期にかかりつけ医が希望する情報共有～在宅生活期に向けた情報提供項目標準化と登録かかりつけ医アンケート調査報告～」（10分）

宮本 享（京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター）

情報提供

「脳卒中相談窓口連携会議で共有する患者支援資源情報」（5分）

榎戸真弓（京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター）

指定発言1

「MSWから見た連携主治医制と活用事例」（5分）

松井久典（京都第一赤十字病院）

指定発言2

「脳卒中を専門とするかかりつけ医の立場から」（5分）

富井康宏（下京東部医師会）

指定発言3

「脳卒中以外の領域を専門とするかかりつけ医の立場から」（5分）

三嶋隆之（一般社団法人左京医師会）



## セッション2 かかりつけ薬局を軸とした「薬剤連携」の新たな展開

司会：寺田智祐（京都大学医学部附属病院 薬剤部長）

講演3

「回復期における退院時服薬指導とかかりつけ薬局との連携」（15分）

多胡和樹（洛和会音羽リハビリテーション病院 薬剤部）

講演4

「脳卒中生活期かかりつけ薬剤師が希望する情報共有～登録かかりつけ薬局アンケート調査報告～」（5分）

宮本 享（京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター）

指定発言4

「脳卒中生活期にかかりつけ薬局が必要とする情報共有」（5分）

藤田洋司（左京薬剤師会）

指定発言5

「地域におけるかかりつけ薬局登録の推進」（5分）

竹内将貴（京都田辺中央病院 臨床薬剤部）

- - - - - 休憩・名刺交換 - - - - -

## セッション3 看護サマリーの標準化と思いを支える支援

司会：尾原知行先生（京都府立医科大学附属病院 脳神経内科教授）

講演5

「看護サマリー記載項目標準化を受けて～急性期～」（10分）

宮本雅子（京都大学医学部附属病院 看護部）

講演6

「看護サマリー記載項目標準化後を受けて～回復期～」（10分）

田中 幸（京都近衛リハビリテーション病院 看護部）

講演7

「看護サマリー記載項目標準化がもたらした影響」（10分）

杉浦幸代（脳神経リハビリテーション北大路病院 看護部）

講演8

「脳卒中における意思決定支援の今後の展開」（20分）

宮本 享（京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター）

閉会挨拶：永金義成（京都第二赤十字病院 脳神経内科）

（以上敬称略）